



優良受注企業紹介

「技術の上に技術あり」

豊かな発想力と最新技術の積極的導入で
ユニークな製品を次々開発する
自動機・精密部品の製造メーカー

旭エンジニアリング株式会社



— 御社は産業用自動化機械などの設計・製造から設置までを手がけ、画期的な製品はマスコミで大きく報道されています。また、藤沼社長は、経済誌などに「岩手の発明王」と紹介されています。最近の製品には、どのようなものがありますか？

「岩手の発明王」というのは過分な紹介だと思っていますが、自社が設計からすべてを手がけて開発した最近の商品には、『発券王』という日本最小の高性能券売機があります。小さくて場所をとらないうえ、メニューの登録も数百種類が可能。もし故障がおきても、原因の個所が表示され、だれでも簡単に修復できるシステムになっている優れ物です。銀行や病院などの順番待ちカードの発券などにも応用ができます。また、テレビで大きく紹介されたものの一つには「水道水を使わない水洗トイレ」があります。



県内に2台しかない非接触型計測器
レーザービームで加工精度を確かめる

— 水を使わない水洗トイレですか！

そうです。小便器内で液化フッ素を循環させる構造になっていて、水と液化フッ素の比重の差を利用したものです。液化フッ素で洗浄された尿はタンクの中で分離します。上澄みの尿だけを排出、きれいな液化フッ素は何度も利用できる。フッ素の殺菌作用で便器は常に清潔ですし、潤滑作用で汚れが付着しにくい利点もあります。コンサートやイベント会場、新幹線や飛行機など小さなスペースしかない空間で活用でき、すでにJRでは実験的に試用しています。一般家庭に導入すれば、年間で十数万円となる水道料金の節約にもつながります。

— そのようなユニークな発想は、どこから生まれてくるのですか

例えば家族と海水浴に行っても、私



大型病院施設などで活用される
エア搬送機器

は別行動で、浜で作業している人たちに「これは何の作業ですか？ 何のためにやっているんですか？ 何か困っていることはないですか？」と聞いて歩く。そういう中から「こういうものを作ってあげれば、もっと作業を楽にしていける」というものが出てくるんです。過去に作ったものが応用できることも多々あり、ホタテの選別機はジャガイモの選別機を改良したもののなんです。課題やニーズの発見と応用力が大切ですね。

— 特許なども保有しているのですか

当初はあまり特許の取得にはこだわっていませんでしたが、今ではしっかりと申請して権利を保有しています。小型タンク、野菜洗浄機、パネル用クギ打ち装置、自動発券装置、食券自動販売機、小便器装置などをはじめ、たくさんの特許を保有しています。



独自開発した
日本最小の高性能券売機「発券王」

— ところで、御社のこれまでの歩みは

そもそも私は東京の生まれで、親戚のいる花巻にやって来たのが昭和49年、27歳のときでした。花巻の会社に少し勤めたあと、自分で商売を始めようと考えました。その時にある方に相談したら、「腐るものはやめなさい」、そして「流行を追うものはやめなさい」と二つの助言をいただきました。腐るものというのは、野菜とか魚とか生ものですね。すぐに売り切らないと腐ってしまいます。流行というのは、例えば衣服。夏物を仕入れたら、すぐに秋や冬になってしまったということがあつた。そこで何か無いかなと考えて、思いついたのが工具でした。そして、工具をもって自動車や農機具の修理工場をまわって卸販売をするようになった。これが当社のスタートです。

その後、刈り払い機のベアリングを何種類かセットにして販売したり、日本で初めてプラスチックの苗箱を開発したり、爪付きの代掻き機を開発したりしながら、社業を発展させてきました。昭和50年にはアインテック株式会社を設立し、農業機械関連を主体として野菜洗い機、プラント、除雪

機などを開発してきました。そしてさらに、昭和57年には旭エンジニアリング株式会社を設立し、産業用自動化機械等の設計、製造、設置までの一貫体制と、精密板金加工などを得意分野として、多くのお客さまとお取引をさせていただいております。

— 主要生産品目とお取引先は

当社の製品には、開発を含めてすべて自社で完結している独自商品のほかに、お客様から受注をうけ、図面をいただいて、それを製品化したもの、あるいはお客様と一緒に設計、開発したものなどさまざまなスタイルのものがあります。その中でいくつかご紹介すると、冒頭にご紹介した券売機や新トイレのほかに、自動車工場などの自動制御機器、OA関連精密板金部品、病院施設などのエア搬送機器、プレス金属加工部品、環境関連機器など多数あります。

お取引先としては、関東自動車工業様、松下通信工業様、アイシン東北様、日本シューター様、新興製作所様、三立興産様、サクサテクノ米沢様、東北日本電気様などがごございます。

— 御社が掲げておられる「技術の上に技術あり」の意味と今後の目標をお教えください

技術というのは、日々進化し、進歩しています。ですから、私は社員に「現時点で、自分たちの技術は最高だと思っても、それは違うよ。技術の上にはすぐにまた、新しい技術がくるんだよ」と言っています。人生は死ぬまで勉強といいますが、技術もそうです。現状に安んじとせず、将来を見つめながら、常に先進の技術を追い求めていくのが当社の目標です。

個人的な目標としては、アイデアや夢を持っている若い人に投資をしてあげて、全国47都道府県に会社をつくりたいと思っています。本気になっている若い人が、それぞれ自分のやりたいことができるように応援してやりたい。そして「よく頑張ったな」と言って、その会社を訪ねて歩きたいですね。

— 最後にりますが、社長は会社経営のほかに、花巻工業クラブの会長を務められたり、地元大学で教壇にも立ってられます。その思いは

最近の日本は、企業も個人も、あまりにお金もうけ優先だったように感じています。そうではなく、自分たちが世の中に対し、どういう位置でどういう貢献を果していくか、そのことをもっと考えていかなければと思っています。工業クラブでは昨年秋に「テクノフェア」を開催しました。これは、このイベントを通じて子供たちが思考力や洞察力、何かをやるとうする力を生み出すきっかけにしてほしいと願って企画したものです。私たち大人は、人生の先輩として、やさしさや思いやり、尊厳など人間にとって本当に大切なことを、後輩たちにもっと伝えていかなければならないと思っています。

企業概要



藤沼 弘文
代表取締役社長

設立	昭和57年10月
代表者	代表取締役社長 藤沼弘文
所在地	花巻市二枚橋3-120
電話番号	0198-30-2211
FAX番号	0198-30-2213
E-mail	asahi@asahi-enrg.co.jp
資本金	2500万円
従業員数	73名
事業内容	①自動制御システム機器の設計・製造・組立・制御 ②OA機器等の精密板金加工 ③製品加工製造 ④産業機械設計・製造
主要取引先	関東自動車工業、松下通信工業、アイシン東北、日本シューター、新興製作所、三立興産、サクサテクノ米沢、東北日本電気ほか多数
設備・機械	レーザー複合機、CNC/パンチプレス2台、非接触型2次元計測機、NCベンダー6台、NCセットプレス2台、自動平面バリ取機1台、精密ロールレベラー2台、シャーリング3台、プレス10台、マシニングセンター10台、NC旋盤10台、溶接機20台、CAD自動プロ12台、ボール盤、タップ盤ほか多数